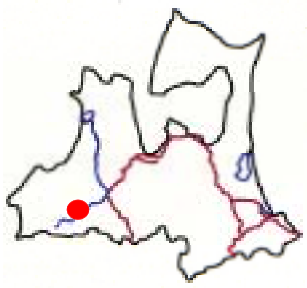
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名　津軽（つがる）ダム建設事業（直轄）
（青森県中津軽郡西目屋村（あおもり　なかつがる　にしめや））

事業着手：平成3年度　　**完成・供用の目標年度：平成２８年度完成予定**

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

津軽（つがる）ダムは、岩木川（いわきがわ）の本川上流、中津軽郡西目屋村藤川（なかつがるぐんにしめやむらふじかわ）・居森平（いもりたい）地内に建設中の多目的ダムです。

津軽ダムは、岩木川本川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、工業用水の供給、発電の６つの役割を担います。

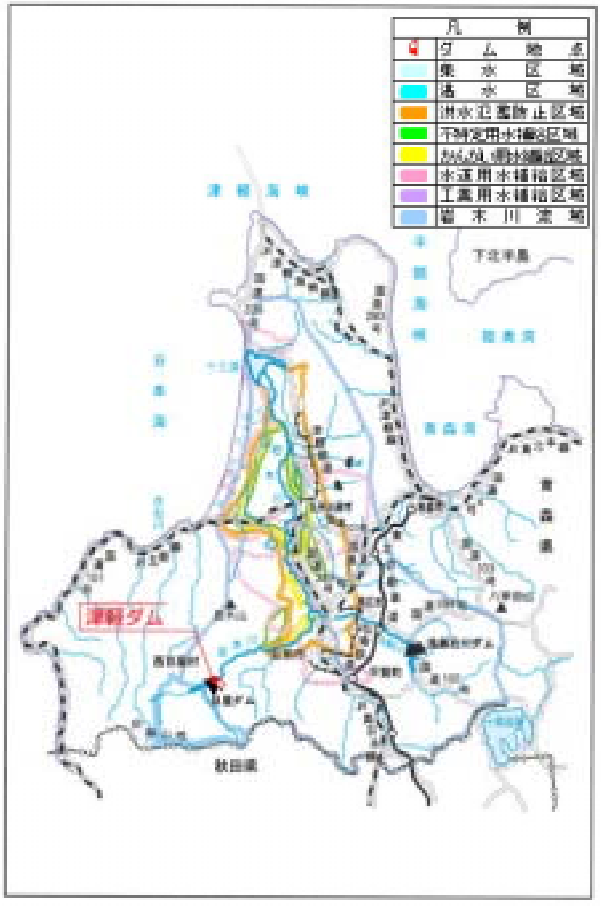
「事業の概要」

○　ダム諸元
・総貯水容量：1億4,230万m³　・高さ：　97.5m　・堤頂長：360.0m
・堤体積：　88万m³　・ダム型式：重力式コンクリートダム

○　これまでの事業経緯
平成８年度　　下流工事用道路着手
平成１４年度　　付替県道着手

○　総事業費：1,450億円、完成工期：平成28年度
（平成17年　7月19日：基本計画変更告示）

位置図及び計画概要図



津軽ダム堤体建設予定地　＜下流から＞



（平成１８年６月撮影）

平成１６年９月台風出水状況（岩木川：弘前市）



平成１９年度の予定

○　本体建設工事に先立ち、実施する必要がある本体建設関連工事を実施するほか、付替県道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）3,100m³/sのうち2,890m³/sをダムに貯め、210m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて岩木川本川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、弘前市への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	胆沢ダム建設事業（直轄） （岩手県奥州市）

事業着手：昭和６３年度	完成・供用の目標年度：平成２５年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

胆沢ダムは、北上川の右支川胆沢川の上流に位置する奥州市胆沢区若柳地内に建設中の多目的ダムです。

胆沢ダムは、北上川本川と胆沢川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の５つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元

・総貯水容量：1億4,300万m³　・高さ：132.0m　・堤頂長：723.0m

・堤体積：1,350万m³　・ダム型式：ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯

平成17年度～　　堤体盛立

平成18年7月末　　堤体盛立 94万m³　（進捗率：7%）

○　総事業費：2,440億円、完成工期：平成25年度

（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の胆沢ダム ＜下流上空から＞

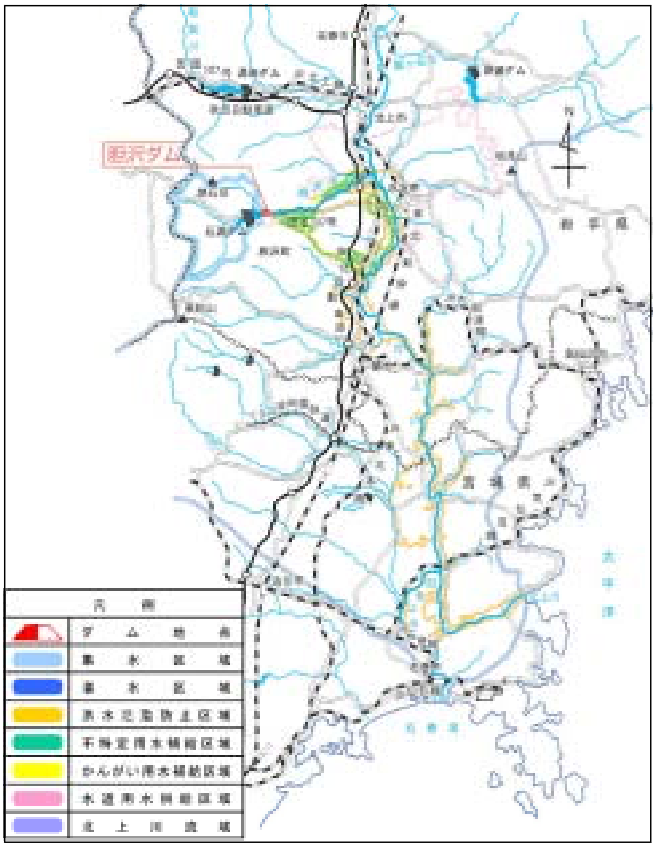


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成18年5月撮影）

水沢工業団地浸水状況（H14.7洪水）



胆沢ダム計画概要図



平成１９年度の予定

○堤体盛立工事等本体工事及び付替国道・市道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）2,100m³/sのうち1,830m³/sをダムに貯め、270m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて北上川本川及び支川胆沢川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、胆江広域水道企業団への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	長井ダム建設事業（直轄） （山形県長井市）

事業着手：昭和５９年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

長井ダムは、最上川の左支川置賜野川の上流長井市平野・寺泉地内に建設中の多目的ダムです。

長井ダムは、最上川本川と置賜野川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元

・総貯水容量：5,100万m³　・高さ：125.5m　・堤頂長：381.0m

・堤体積：120万m³　・ダム型式：重力式コンクリートダム

○　これまでの事業経緯

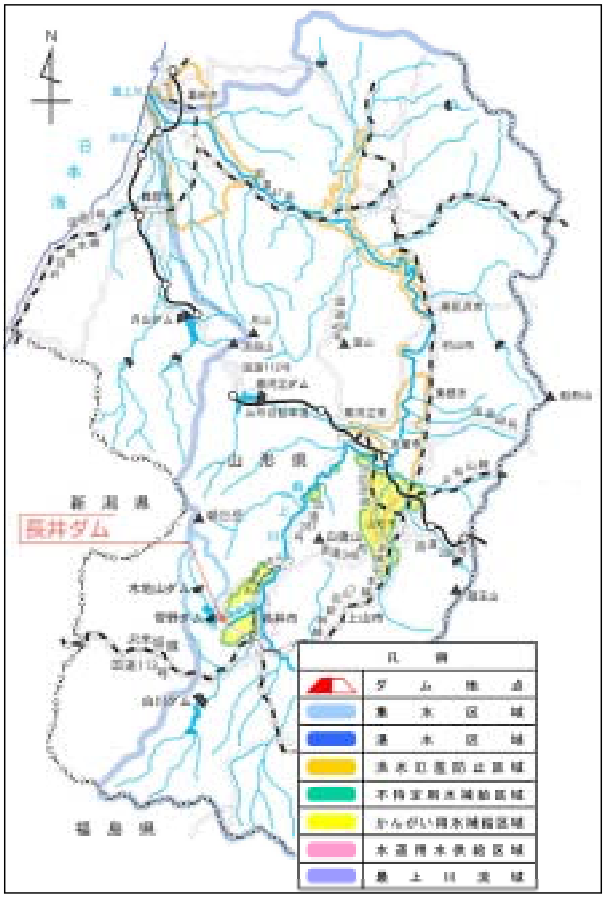
平成14年度～　　堤体コンクリート打設

平成18年7月末　　コンクリート打設 114万m³（進捗率：95%）

○　総事業費：1,600億円、完成工期：平成22年度

（平成14年11月12日：基本計画変更告示）

位置図及び計画概要図



長井ダム堤体コンクリート打設状況　＜下流から＞



（平成18年5月撮影）

平成14年7月台風出水状況（最上川：白鷹町）



平成19年度の予定

○取水放流設備製作据付及び付替県道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）1,000m³/sのうち780m³/sをダムに貯め、220m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて最上川本川及び支川置賜野川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、長井市への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

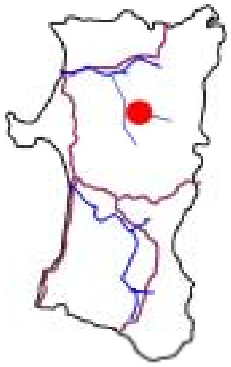
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名　森吉山ダム建設事業（直轄）
（秋田県北秋田市）

事業着手：昭和６１年度	完成・供用の目標年度：平成２３年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

森吉山ダムは、米代川の左支川阿仁川の右支川小又川上流に位置する北秋田市根森田・森吉地内に建設中の多目的ダムです。

森吉山ダムは、米代川本川と支川阿仁川及び小又川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元
・総貯水容量　：　7,810万m³　・高さ　：　89.9m　・堤頂長　：　786.0m
・堤体積　：　585万m³　　・ダム型式　：　ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯
平成16年度～　　堤体盛立
平成18年7月末　　堤体盛立　512万m³　（進捗率：88%）

○　総事業費：1,750億円、完成工期：平成23年度
（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の森吉山ダム　＜下流上空から＞

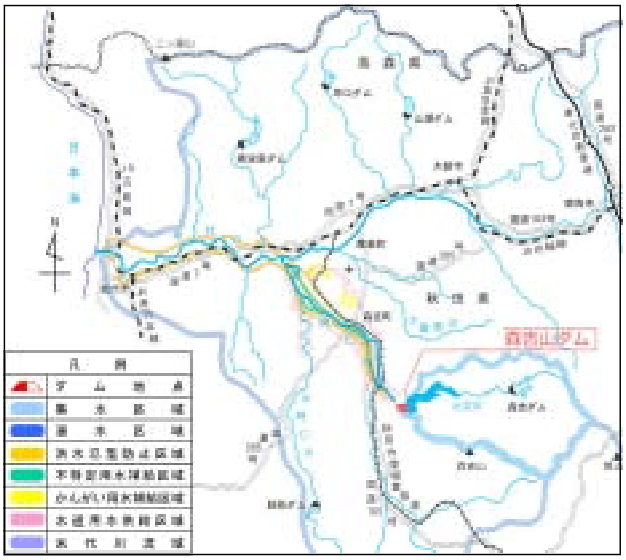


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成18年5月撮影）

支川小又川の越水<H9.7>



森吉山ダム計画概要図



平成１９年度の予定

○堤体盛立工事等本体工事及び付替県道・市道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水流量（計画高水流量）2,300m³/sのうち2,200m³/sをダムに貯め、100m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて米代川本川及び支川阿仁川・小又川沿川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、北秋田市（旧森吉町・旧合川町）への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

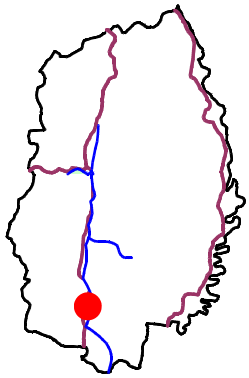
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一関遊水地建設事業（直轄） （岩手県一関市・平泉町・奥州市）

事業着手：昭和４７年度	完成・供用の目標年度：平成３０年代後半完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

一関遊水地は、一関市などの市街地を洪水から防御する本堤と遊水地内の優良農地を中小規模の洪水から守る小堤から構成し、本堤は平成15年度に概成しました。一方、衣川地区の本堤や小堤が未整備となっているため、平成14年7月洪水では家屋（23戸）や国道4号、さらに遊水地内の農地が浸水するなどの被害が発生しています。このため、本堤及び小堤の整備が必要となっています。

「事業の概要」

本堤の進捗に併せ平成18年度から実施の小堤盛土の進捗を図ります。

第2遊水地においても小堤盛土に着手し、衣川地区においては、国道4号衣川橋架替、JR衣川橋りょう架替を進めます。



平成19年度の予定

○平成19年度は、第1遊水地小堤、第2遊水地小堤、国道4号衣川橋架替、JR衣川橋りょう架替を実施します。

事　業　効　果

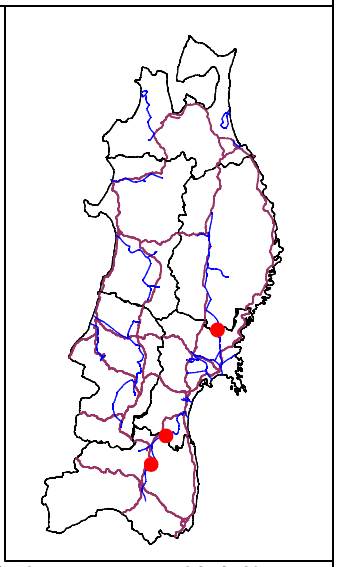
○小堤の施工により、第1遊水地820ha、第2遊水地470haにおける、中小洪水(1/10確率降雨)による浸水被害を軽減します。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名　**土地利用一体型水防災事業**

阿武隈川上流二本松･安達地区（福島県二本松市）
阿武隈川丸　森　・　梁　川　地　区（宮城県丸森町･福島県伊達市）
北上川上流一　関　・　川　崎　地　区（岩手県一関市）

事業着手：　－　　**完成・供用の目標年度：　－**



事業の必要性･事業の概要

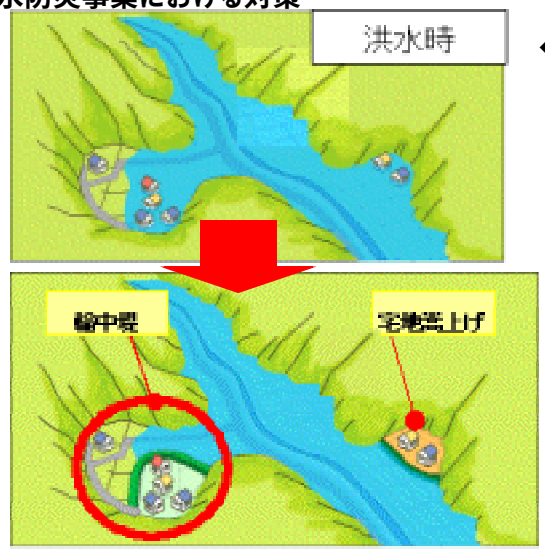
「事業の必要性」

阿武隈川の二本松・安達地区（福島県）や県境の丸森（宮城県）・梁川（福島県）地区、北上川の宮城県境から上流一関遊水地までの区間は、背後に山々が迫り、狭隘部という地形特性を有しておりますが、川沿いに集落が点在していることなどから、平成10年８月洪水や平成14年７月洪水など、過去に幾度となく浸水被害を受けており、早急な治水対策が急務となっています。

「事業の概要」

従来の連続堤防による対策では長い年月がかかること、地形特性上から施工が困難であることから、従来の改修方式ではなく、輪中堤、宅地嵩上げ等の対策により、早期の効果発現を図ります。

◎水防災事業における対策



◆阿武隈川上流二本松・安達地区における被害状況

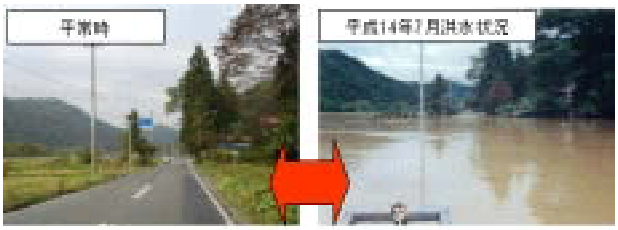


◆阿武隈川丸森・梁川地区における被害状況





◆北上川上流一関・川崎地区における被害状況



濁　流　が　家　屋　に　迫　り　、生　活　道　路　も　水　没！

平成19年度の予定

○水防災事業における各種治水対策を推進します。

事　業　効　果

○輪中堤、宅地嵩上げ等を実施整備することにより、洪水時の安全な生活を確保します。

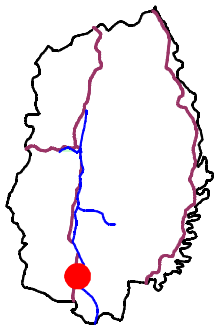
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	砂鉄川（さてつがわ）激甚災害対策特別緊急事業（補助：事業主体　岩手県） （岩手県一関市）

事業着手：平成１４年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



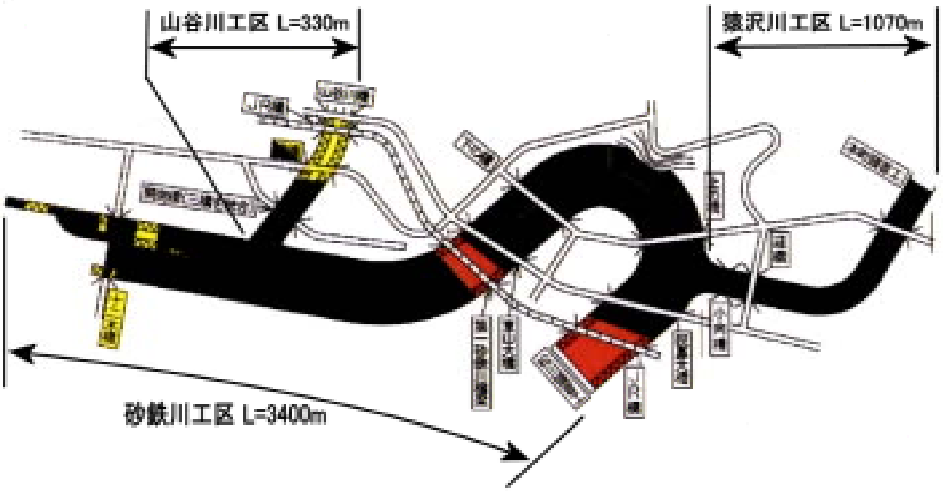
「事業の必要性」

砂鉄川では、平成14年7月10日～11日の台風6号による豪雨により、床上浸水271戸、床下浸水122戸もの甚大な浸水被害を被ったことから、再度の災害を防止するため、早急に治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

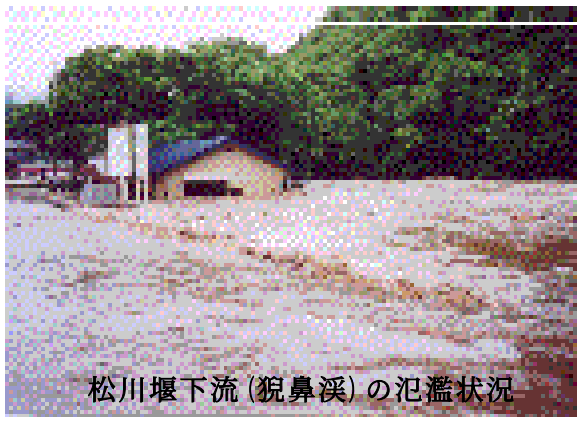
治水安全度の向上のため、掘削、築堤、橋梁架替を実施します。

激特区間全体延長　L=4800m





平成14年7月洪水による氾濫状況



松川堰下流（猊鼻渓）の氾濫状況

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、河道掘削、築堤、護岸の整備を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○事業が完了することにより、 平成14年規模の洪水に対しての被害（床上２７１戸、床下１２２戸）が解消されます。

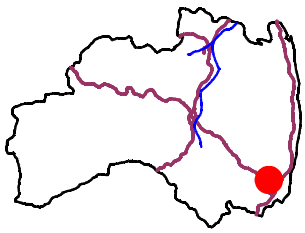
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	湯本川（ゆもとがわ）床上浸水対策特別緊急事業（補助：事業主体　福島県） （福島県いわき市）

事業着手：平成１４年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県

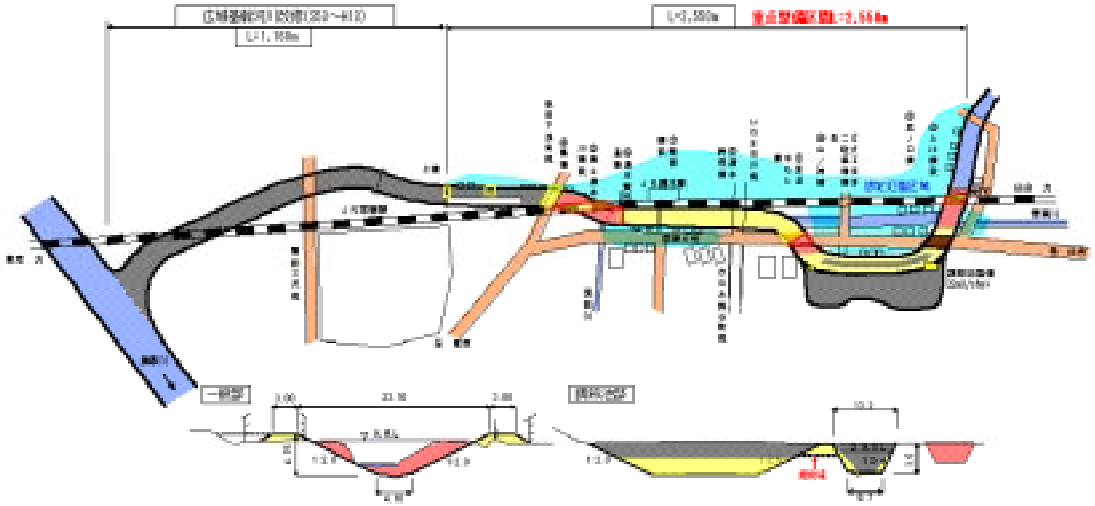


「事業の必要性」

湯本川は河幅が狭く、国道・ＪＲ橋梁等の断面が狭小のため、豪雨・出水の際には度々氾濫しており、特に平成5年11月の集中豪雨では、常磐湯本市街地全域に甚大な被害を被ったことから、早急に治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

治水安全度の向上のため、築堤、掘削、調整池、橋梁架替を実施します。





平成10年10月洪水による浸水状況



平成５年11月洪水による浸水状況

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、掘削、護岸、橋梁架替を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○調節池及び河道改修により、３９７戸の床上浸水が解消されます。

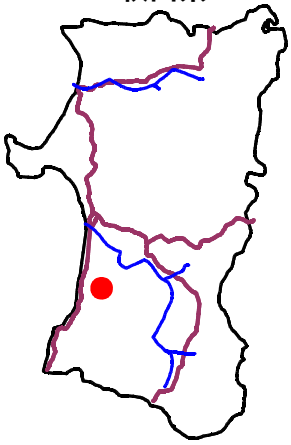
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	大内ダム建設事業（補助：事業主体　秋田県） （秋田県由利本荘市）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

大内ダムは、子吉川水系芋川支川畑川に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムです。

芋川流域では、豪雨による出水で度々洪水被害を受けている一方で、夏期においてはしばしば深刻な水不足に見舞われています。

大内ダムによって、洪水被害や渇水等の心配のない安全で安心できる地域づくりが可能となります。

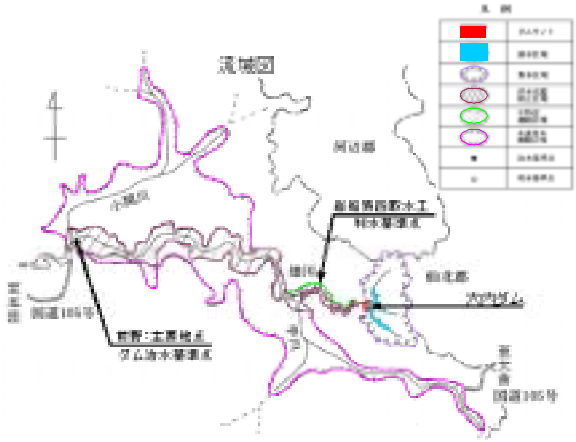
「事業の概要」

全体計画

ダム形式	：	重力式コンクリート
ダム高	：	27.5 m
堤頂長	：	106.0 m
堤体積	：	21.5 千m³
総貯水容量	：	724.0 千m³

進捗状況

平成１５年度	本体工事契約
平成１６年度	本体基礎掘削
平成１７～１８年度	コンクリート打設



平成１４年７月洪水（国道１０５号：由利本荘市松本）



大内ダム（下流左岸より、平成１８年８月）



平成１９年度の予定

○平成１９年度は、試験湛水を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○洪水の際、ダムに流入する45m³/秒のうち37m³/秒をダムに貯めて下流の畑川及び芋川沿川地域の水害を防ぎます。

○１日あたり最大2,000m³の水を上水道へ供給します。

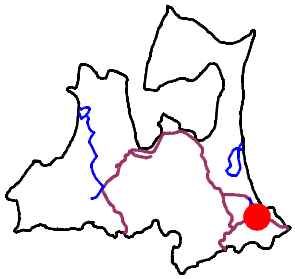
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	土橋川（つちはしがわ）床上浸水対策特別緊急事業（補助：事業主体　青森県） （青森県八戸（はちのへ）市）

事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

土橋川では、平成11年10月に床上・床下浸水160戸、平成13年9月に床上・床下浸水44戸の浸水被害が発生しています。

このため、近年の水害の発生状況や避難勧告の発令状況、流域の重要性を考慮し、早急に治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

治水安全度の向上のため、放水路工を実施します。







平成１９年度の予定

○平成１９年度は、放水路本体工を実施し、事業の促進を図ります。

事　業　効　果

○放水路が完了することにより、 平成１１年規模の洪水に対しての被害（床上・床下１６０戸）が解消されます。